

# 飛鳥～奈良時代の遺物

坏(つき)



食べ物を盛るためのふたつきの器です。本体部分の身(み)と、それにかぶせるふたのそれぞれの破片が見つかりました。須恵器(すえき)と呼ばれる灰色の硬いタイプの土器です。

高坏(たかつき)



皿の下に脚(あし)が付いた土器の破片です。左の写真と同じ、須恵器ですが、窯(かま)で焼かれたときの状態によって、自然に釉薬(うわぐすり)がかかったような光沢が出ています。

皿(さら)



土師器(はじき)と呼ばれる赤い色をした軟らかい性質の皿の破片です。写真ではよく分かりませんが、皿の内側をよく見ると…。

甕(かめ)



土師器の甕の破片です。かまどにすえて煮炊きなどに使われました。

土錘(どすい)



漁につかう道具です。あみにつけて、おもりとして使いました。土で作られていて、ひもを通すための穴があいています。

## 古墳時代の遺物

紡錘車(ぼうすいしゃ)



糸をつむぐための錘(おもり)です。軟らかくて加工しやすい滑石(かっせき)とよばれる石で作られています。

近畿自動車道名古屋神戸線(四日市JCT～亀山西JCT)建設事業に伴う

きたやま

なかのやま

# 北山A遺跡(第3次)・中野山遺跡(第8次)

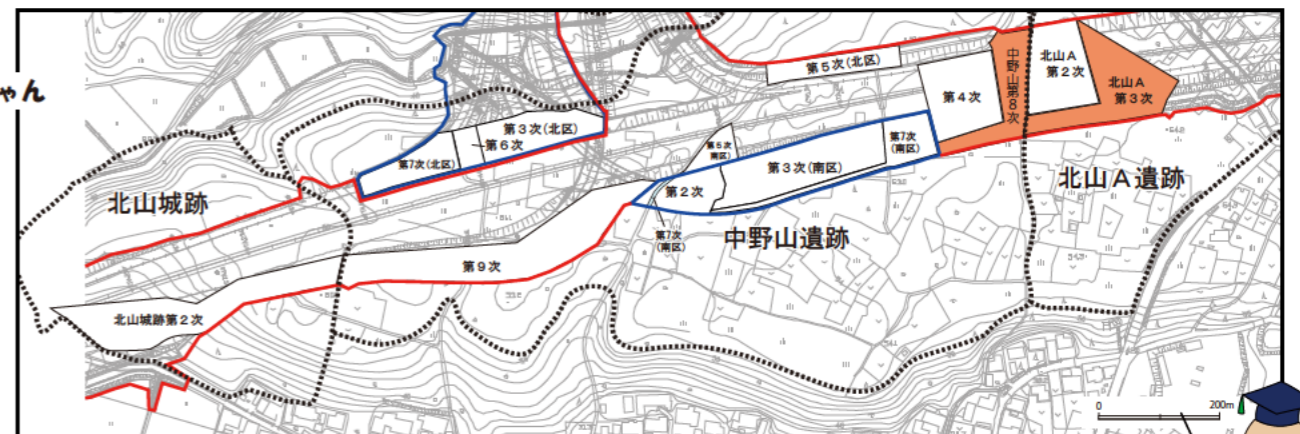
## 現地説明会資料

2012年10月13日

三重県埋蔵文化財センター



6月から始まった発掘調査、暑かった夏も、なんとか乗り切りました(汗)。モグ博士、いよいよ現地説明会ですね!



そうじゃの、アーリー。今回の発掘調査では、どんな発見があったのか楽しみじゃ。

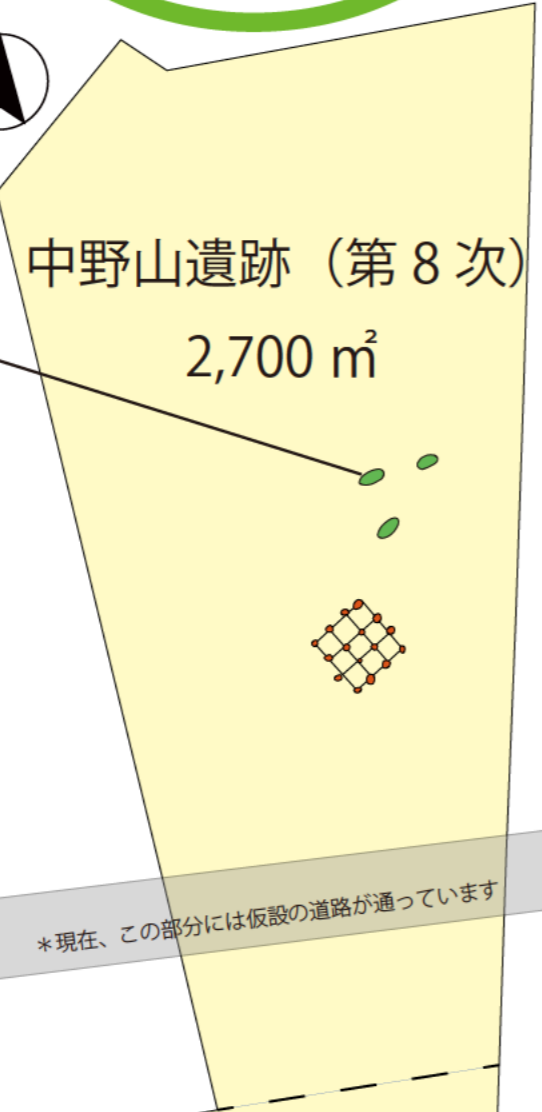
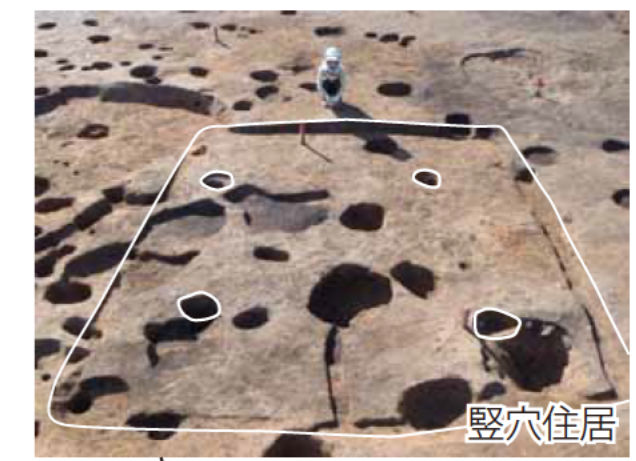
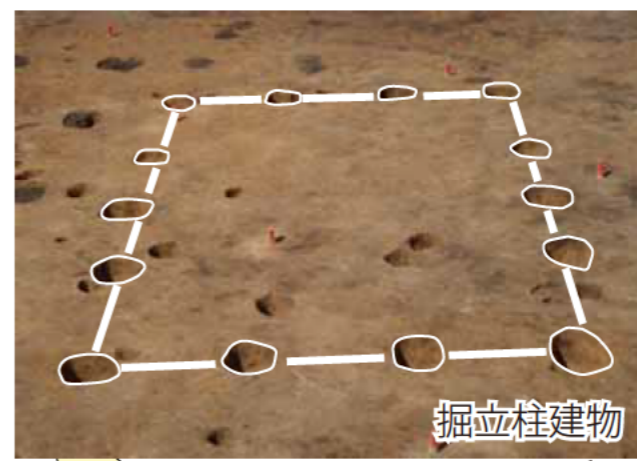
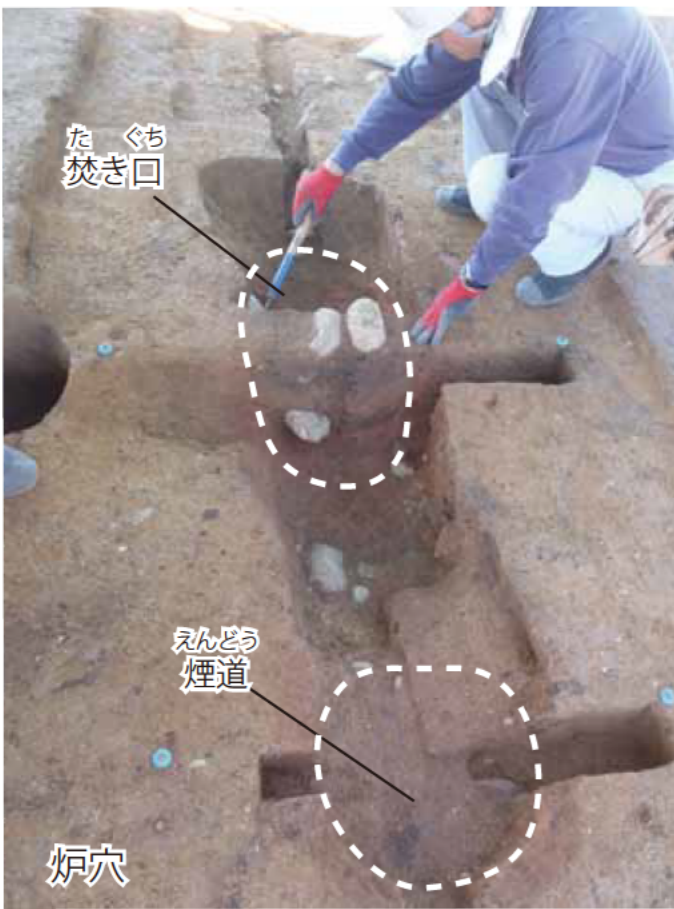


発掘調査は、このあと12月頃まで続く予定じゃ!



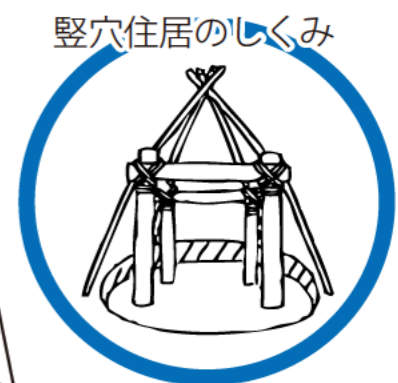
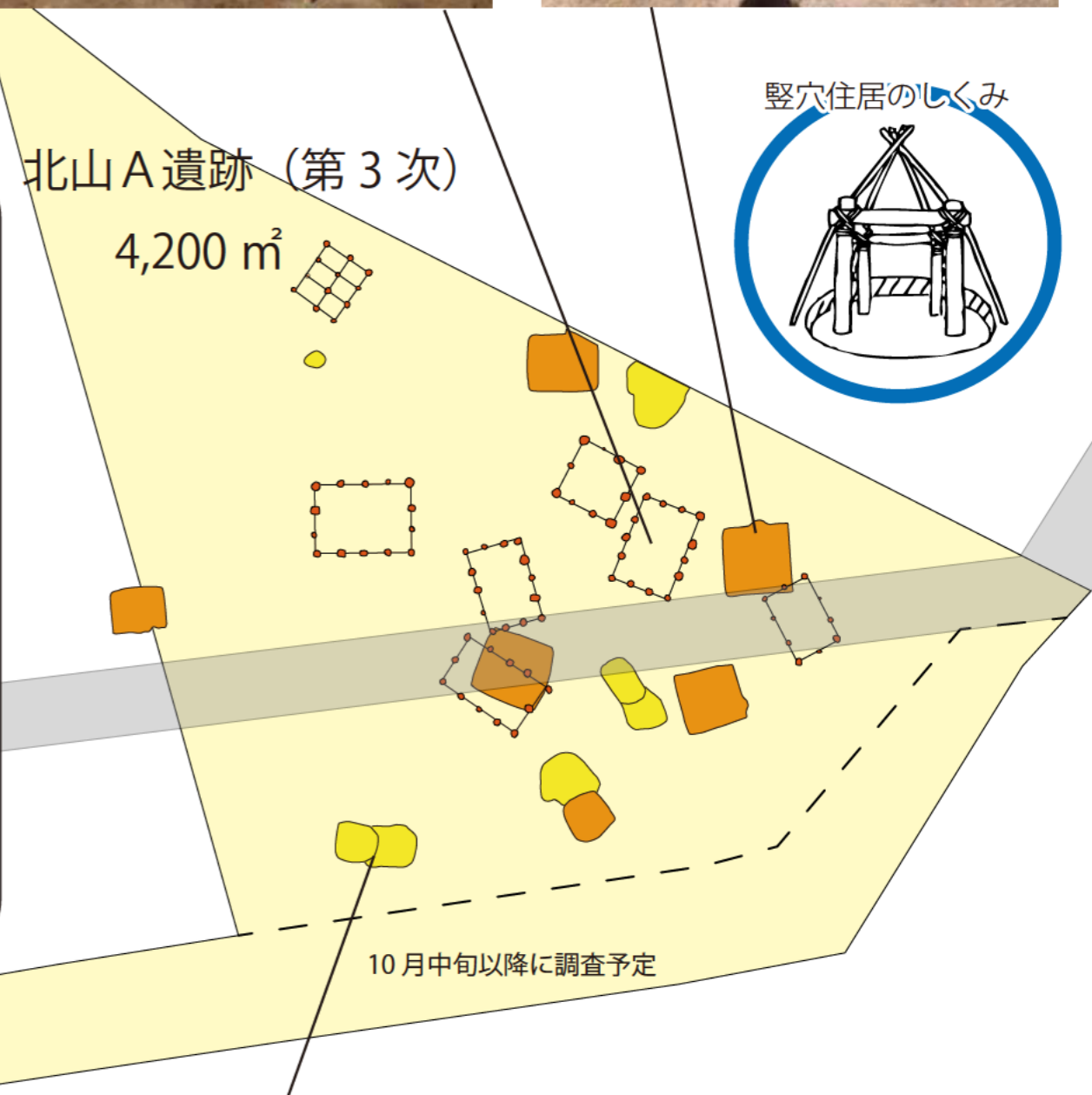
北山A遺跡第3次・中野山遺跡第8次発掘調査 現地説明会資料 (新名神高速道路発掘調査ニュース「新あさけのいにしへ No.9」)

三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503  
 TEL:0596-52-1732 / FAX:0596-52-7035 <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/maibun/>  
 四日市整理所 〒512-8064 三重県四日市市伊坂町 126-1  
 TEL:059-363-3195 / FAX:059-363-3196  
 2012年10月13日



**北山A遺跡**  
きたやま いせき  
 現在のところ、竪穴住居6棟、掘立柱建物6棟、大きな穴（土坑）、溝、小さな穴（ピット）などを確認しています。竪穴住居や大きな穴からは、飛鳥～奈良時代（今から1,300年ほど前）の土器が出てきました。

昨年度に発掘した西隣りの調査区でも同じような竪穴住居や掘立柱建物が見つかったので、このあたり一帯に飛鳥～奈良時代の集落が広がっていたことが分かります。



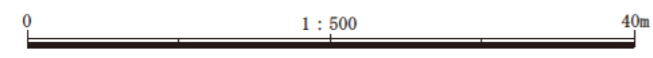
**中野山遺跡**  
なかの やま いせき  
 現在のところ、炉穴3基、掘立柱建物1棟、溝、小さな穴などを確認しています。炉穴から土器などは出てきませんでした。が、昨年度の調査例などから、縄文時代早期（今から8,000年ほど前）につくられたものと考えられます。

掘立柱建物からも、土器などは見つかりませんが、やはり昨年度も調査例から、飛鳥～奈良時代（今から1,300年ほど前）に建てられたものと考えられます。

\*現在、この部分には仮設の道路が通っています

10月中旬以降に調査予定

おもな遺構の時代と種類		
縄文時代	炉穴	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color: #4CAF50;"></span>
古代 (飛鳥～ 奈良時代)	竪穴住居	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color: #FF9800;"></span>
	掘立柱建物	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color: #E57373;"></span>
	大きな穴	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color: #FFEB3B;"></span>



10月中旬以降に調査予定